

2026 年 VRED 車両規格「LC-1」統一規則書

令和 7 年 11 月 19 日

- 名称

2026 年 VRED 車両規格「LC-1」統一規則

- 対象シリーズ

MOTUL M4 RACING LEAGUE

- ・ [琵琶湖シリーズ](#)
- ・ [レインボーカップシリーズ](#)
- ・ JAPAN TOUR SERIES
- ・ RBC

MOTUL M4 NATIONAL LEAGUE

- ・ 中山チャンピオンレース
- ・ SPN 2&4 シリーズ

APG スポーツカート耐久シリーズ「スポ耐 APG」

- ・ GT-1 クラス

- エンジン規則

各エンジンの規則は以下のリンクから参照

- ・ [MZ200RK/RKC](#)
- ・ [GB221 LC-1](#)
- ・ GX200

- 指定、推奨パーツリスト

[2026 年 VRED 車両規格「LC-1」 指定、推奨エンジンパーツリスト](#)

- シャシー

- ・ ジュニア、キッズカート、レンタルカート以外の各一般市販品。(例：OK、KZ 用フレーム)
- ・ 非売品シャシーや修理以外を目的とした加工や切断等は原則認めず、運営側への申告が必要。
- ・ リアトレッド幅は最大 1400 ミリまでとする。
- ・ 燃料ホースは中身が見える透明、半透明を使用すること。
- ・ ブレーキマスター、ペダルを繋ぐセーフティーワイヤーは必備とする。

- カウル、ボディーワーク

- ・ CIK、FIA 公認、又はそれ相当の安全に問題のない物を使用すること。
- ・ カウルの傷、穴に関してはできる限り補修、交換を行うこと。
- ・ 安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は義務とする。
- ・ 脱落式フロントフェアリングの装着は原則義務※とする。但脱落による 5 秒加算は適用されないが、完全に脱落し走行に支障をきたす場合はオレンジボールフラッグが提示される。(スポ耐 APG ではカウルペナルティあり)

※ 脱落式フロントフェアリング用ブラケットを装着できないカウルを使用する場合

2014 年以前に製造されていたカウル(OTK M4、FreeLine 旧型カウル等)のみ使用可能。

但し、ゼッケンパネル、サイドカウルを同種類で統一は義務とし、シャシーは当時物を使用すること(2014 年式以前が必須)

- ガソリン

- ・ 各シリーズに準じ、指定されたガソリンスタンドで購入、使用すること。指定がない場合は一般市販ガソリンを使用すること。
- ・ **ガソリンへの添加剤等の使用は一切禁止する。また、抜き打ちで検査を行う場合がある。**

- タイヤ

NEXXIVE S1K (フロント 4.5×10.0-5、リア 7.1×11.0-5)

- ・ リアタイヤは 7.1×11.0-5(幅広タイプ)のみ採用。6.0×11.0-5 は使用不可。
- ・ パンク、バースト等やむを得ない理由を除き、大会中は登録したタイヤから変更は不可。ただし、公式練習のみ各運営の判断で登録タイヤ以外の使用が認められる場合がある。
- ・ パンク、バースト等でやむを得ずタイヤを交換する場合は運営側に申告が必要。但し新品タイヤは使用不可。
- ・ ドライ、ウェット共に採用。レインタイヤ設定はなし。
- ・ 大会中のタイヤローテーションは可能だが、全輪回転方向を合わせること。
- ・ 前後逆に装着することは禁止とする(フロントにリアタイヤ装着等)

※上記以外のタイヤを使用する場合は要相談

- 車両保管

- ・ 第 1 決勝終了後、リバースグリッド対象順位の車両は車両保管の対象となり、車検場で保管される。
- ・ 第 2 決勝は上位 6 台が車両保管の対象となる。
- ・ エンジン、キャブレター、ガソリンの検査を抜き打ちで行う場合がある。対象はランダムで選ばれ必ずしも上位が対象とは限らない。
- ・ 参加者間で車検に異議申し立てがあった場合、申告されたドライバーの車両と申告したドライバーの車両の両方を対象に再検査(エンジンやキャブレター分解、オイルやその他油種類の検査な

ど)を行う。

- 再車検

車両保管中、シリーズポイント獲得車両の中から特定の車両に対して抗議を申告された場合に行われる。

書類の作成はすべて個々で行うこと。大会側からの抗議書類フォーマット等は存在しない。

抗議を申告できるのは参加者(ドライバー)のみとする。

※ この再車検を行う権利は各大会の主催者、プロモーター、車検長のみ持つことができる。採用、不採用問わず決定後は抗議や意義申し立てを一切受け付けない。

- ・ 違反の基準

疑いのある部品が発見された時、規則に準じた部品を使用、装着していることを参加者、エントラントが「その場ですべて説明できる」ことができなければ、違反とみなされる。

また、その説明に基づき都度調査するため、申告が虚偽であると発覚した場合も失格となる。

- ・ 車検抗議申告料金

33,000円（一台につき）

- ・ 再車検の流れ

車検長に申告し、申告した側も重量計測後そのまま車両保管。

↓

申告した側はレース終了20分以内に申告用紙の提出、料金の支払いを各大会のプロモーターに行う。

※ 申告料金の返金を行わない。

↓

申告内容を確認の上、疑いのある所(エンジン、キャブレター等)を申告された側と申告した側、両方の車両を同時に分解し、検査を行う。

※ この時「基準車両」として、新品又はフルノーマルと断定できる車両も同時に分解し、比較して検査を行う場合もある

- ・ 両者の車両に問題がなかった場合

その時点で終了となる。

- ・ 違反が発覚した場合

違反が発覚した側は失格。対象ドライバー、エントラントは1大会出場停止とする。